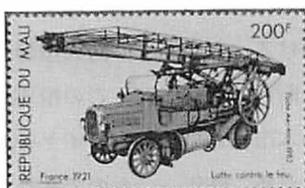


世界の切手に見る消防関係の切手 (6)

平岩道夫 (切手評論家)



(写真①)



(写真②)



(写真③)



(写真④)



(写真⑤)



(写真⑥)

今月はまずズバリ“消防自動車”を描いたマリ（アフリカ）発行の3種の切手（写真①②③）から、紹介してみたい。

切手をよくご覧いただければおわかりのように、昔の消防自動車（1850年）、ハンゴ車（1921年）、近代的な消防自動車（1982年）まで、消防自動車の歴史を、3種の切手で表現している。“消火活動”に励む関係者の努力を、3枚の切手を通してうったえたアイデアの切手——と、収集家たちの間でも人気上々。

写真④⑤は、サルバドル（南米）発行の切手で、消火活動の様子と消防自動車を描いたもの。写真⑥はメキシコ発行の切手で、森林火災の風景が描かれている。森を“緑”、火を“赤”で表現した見事な切手だ。

写真⑦は、カナダから発行された4種田型連刷の“変わりダネ切手”。地上での消



(写真⑦)

火活動、ヘリを使つての海上活動、ヘリによる雪山での活動、地上での事故による救助活動をそれぞれ描いたユニークな4種の切手である。